

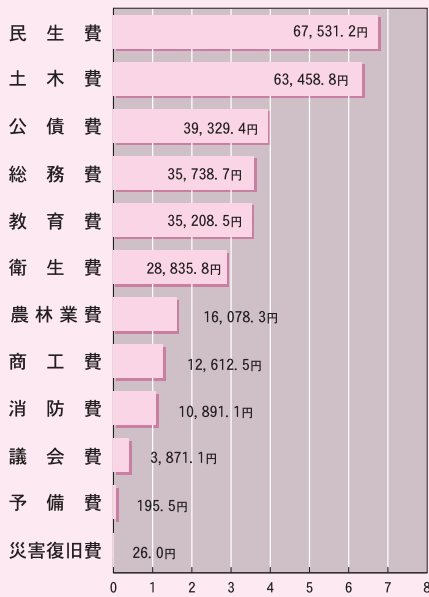
# 施策 1



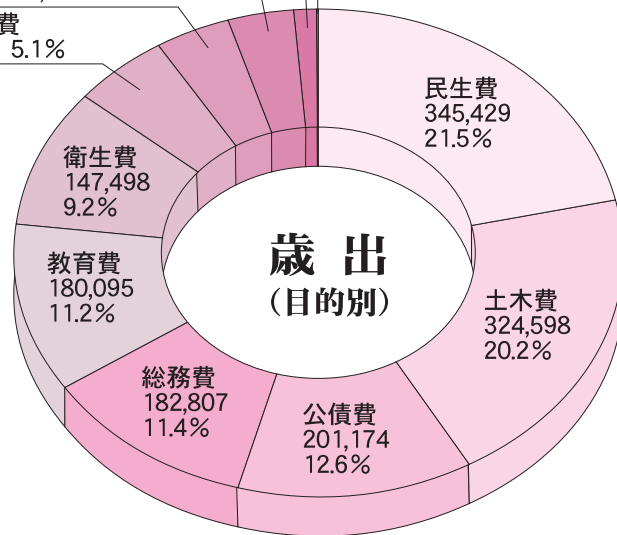
## 市民一人あたりのお金の使い道

平成15年度の目的別科目の予算額を、市民一人あたりに換算してみました。

(3月1日現在の人口：51,151人)



予備費 1,000 0.1%  
 災害復旧費 133 0.0%  
 議会費 19,801 1.2%  
 消防費 55,709 3.5%  
 商工費 64,514 4.0%  
 農林業費 82,242 5.1%



単位：万円

歳出の目的別内訳では、老人や児童などの福祉対策に重点をおいたため、全歳出に占める「民生費」の構成比が21.5%と一番大きくなりました。以下、道路改良などの市民生活関連基盤整備の「土木費」が、20.2%、借入金返済などの「公債費」が12.6%、教育施設整備費の増加による「教育費」が11.2%となっています。

## 平成15年度歳出予算の状況 (性質別)

### 【解説】

歳出予算を用途の性質から分類することを「性質別分類」といいます。人件費や扶助費、公債費は、その支出が義務づけられていて、任意に削減できない「義務的経費」といいます。また、道路や公園、学校など社会資本の整備に要する経費は、普通建設事業費といい、災害復旧事業費とともに「投資的経費」に分類されます。いずれの区分にも属さない歳出を「その他の経費」といいます。

単位：万円・%

科目	平成15年度	平成14年度	差引増減額	伸び率
人件費	279,710	287,815	-8,105	-2.8
扶助費	158,808	142,236	16,572	11.7
公債費	201,174	185,309	15,865	8.6
物件費	227,776	248,336	-20,560	-8.3
補助費等	192,414	187,298	5,116	2.7
維持補修費	11,212	10,580	632	6.0
積立金	115	3,261	-3,146	-96.5
投資及び出資金	162	46	116	252.2
貸付金	41,000	41,305	-305	-0.7
繰出金	182,413	187,504	-5,091	-2.7
普通建設事業費	309,083	335,777	-26,694	-7.9
災害復旧事業費	133	133	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0
合計	1,605,000	1,630,600	-25,600	-1.6

「人件費」は、効率的な人員配置と外部委託の導入などにより、積極的なコスト削減と定員管理の適正化につとめます。

「扶助費」は、老人保護措置費や生活保護費、児童扶養手当扶助費支給にかかる経費、障害者福祉では、支援費制度施行に伴う、利用枠の拡大を図り、ホームヘルプサービスなどの利用の促進を図ります。

「普通建設事業費」の減額は、「正理インター線建設事業」の完了が主な原因ですが、市民生活に密着した基盤整備費は増加しています。